

様式第2号（第2条関係）

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵で、貯蔵能力1,000kg以上3,000kg未満のとき添付）

容器の設置状況	地 盤 面 上				
1 保 安 距 離	①第一種保安距離（法定16.97m以上、障壁設置0m）				
	実 際 距 離	m	保安物件の名称		
	②第二種保安距離（法定11.31m以上、障壁設置0m）				
	実 際 距 離	m	保安物件の名称		
2 障 壁 （ 有 ・ 無 ）	障 壁 の 構 造	材 料			
		寸 法	高さ m	厚さ cm	
		補強筋	mm（間隔）縦 cm 横 cm		
	扉 の 構 造	形 式	片引戸・両引戸		
		寸 法	高さ m	幅 cm	厚さ mm
	扉 の 補 強	等辺山形鋼	30mm×30mm以上		
補 強 間 隔		縦 cm	横 cm		
3 滞 留 防 止	貯蔵設備面積	縦 m×横 m = m ²			
	換 気 口 面 積	実 際	cm ²	法 定 cm ²	
4 軽 量 な 屋 根 等	屋根（材料）		そ の 他		
5 火 気 距 離	火 気 の 種 類		火気距離	m	
	火気距離5m未満	防火壁設置等有無	有 ・ 無		
6 さく、塀等の設置	さく、塀等の種類				
7 消 火 設 備	粉 末 消 火 器	能力 A—	B—	数 量 本	
8 警 戒 標	掲 示 位 置				
	表 示 内 容	L P ガス貯蔵設備、燃、火気厳禁 販売所名、所在地、電話番号			
9 転 倒 防 止 措 置	① 貯蔵設備は、水平で、かつ、上から物が落ちる恐れがないようにする。 ② 転倒防止チェーン・フック等による転倒防止措置を講ずる。				
10 腐 食 防 止 措 置	① 容器は十分に防錆塗装がされたものを使用する。 ② 貯蔵設備は排水のよい構造とし、容器の低部を乾きやすくする。				